

平成28年度 地域密着型金融推進計画に関する基本方針

- 当金庫では、地域金融機関の存在意義は「地域密着型金融」に徹することの認識のもと、事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化等、お客様の利便性の向上を目指して諸施策を実施してまいりました。
今後も、推進計画を継続して取組み、より充実したものへとレベルアップを図るとともに、新たな取組みにも選択と集中により積極的に取組み、地域経済の発展に取組んでまいります。
- 具体的には、監督指針における(1)顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮(2)地域の面的再生への積極的な参画(3)地域や利用者に対する積極的な情報発信等に基づき個別項目を策定し積極的に推進してまいります。

留萌信用金庫

【地域密着型金融の具体的な取組み状況】（平成28年度）

項 目	取組方針	具体的取組策	取組状況
1. コンサルティング機能の発揮			
・ライフステージ等に応じた取引先企業の支援の一層の強化			
①創業・新事業支援	・創業、新事業開拓を目指す個人や企業に対し、各種相談等の支援及び積極的な金融支援を行います。	・日本政策金融公庫及び中小企業診断士会等外部機関と連携し支援態勢の充実を図ります。 ・留萌市・留萌商工会議所との「創業支援に係る業務提携・協力協定」に基づき情報の共有を図り補助金申請や事業計画策定等積極的な支援を行います。 ・地域の資源を有効的に活用する事業に「道北産業応援ファンド」を活用した支援を行います。 ・中小企業経営力強化支援法に基づく認定支援機関として創業補助金の助言・事業計画策定支援等を実施します。 ・相談窓口を記載したパンフレットを店頭に備え置き、積極的にPRを実施します。	・創業・新規事業支援融資取扱実績・・・19先、570百万円内、(株)日本政策金融公庫との連携による創業支援実績・・・1先主に太陽光発電事業、医療など各種事業の創業への進出支援を積極的に行いました。 ・留萌市・留萌商工会議所との「創業支援に係る業務提携・協力協定」に基づく創業支援・・・1件、10百万円 - 今後とも三者間において情報を共有し連携した支援により地域の活性化に取り組んでまいります。 ・「道北産業応援ファンド」を活用した支援実績はありませんでした。
②経営改善・事業再生支援の強化	・取引先企業の(1)経営力の向上(2)創業・新事業(3)事業承継(4)経営改善等といった課題解決の為に、適切な助言等、コンサルティング機能を発揮した支援態勢を強化します。	・北海道中小企業再生支援協議会、北海道よろず拠点事業、中小企業支援ネットワーク事業、日本政策金融公庫等外部機関と連携し支援業務の強化を図ります。 ・中小企業支援施策等の情報提供や情報共有のための連絡会議等を開催します。 ・取引先のニーズが発生した都度、相談会・セミナーを実施します。 ・事業再生支援として経営健全化重点取組先を選定します。 ・経営健全化重点取組先の中から最重点取組先を選定し、支援態勢を強化します。 ・重点取組先に対しては、営業店・本部が一体となって経営全体の改善支援に取り組むとともに、策定支援する改善計画のモニタリングを強化することで対象先のランクアップを図ります。 ・経営者保証に関するガイドラインの趣旨を踏まえた適切な対応を行うこととし、顧客への周知徹底により融資慣行として浸透・定着を図ります。 ・経営改善支援の取組み先数やその取組結果についてディスクロージャー誌に公表します。	・認定経営革新等支援機関として、北海道中小企業支援ネットワーク、留萌地域中小企業支援ネットワーク等を通じて情報交換を行い、連携の強化を図りました。(認定支援機関：革新的ものづくり等支援補助金の支援実績・・・1件) ・取引先企業の課題解決の為に、専門家派遣事業を利用した経営支援・・・北海道小規模企業持続的発展支援事業1先、ミラサボ派遣事業1先 ・事業再生支援先として経営健全化重点取組先を選定・・・15先(内管理重点先3先) ・モニタリング・ヒアリングの実施、財務内容や経営改善計画の進捗状況を把握し、経営改善・事業再生支援に取り組めました。 ・事業承継による事業再生支援に取り組めました。事業の譲受先双方との取引関係を活かした事業性評価による金融支援、事業計画の策定、承継関連の情報提供、外部機関との連携による幅広い支援が図られました。 ・営業店と本部及び外部機関との連携による支援を推進しましたが、債務者区分のランクアップには至らない結果となりました。今後とも中長期的に外部機関との連携を図り最終的に取引先企業の再生により地域経済の活性化に寄与する取り組みを推進する方針であります。経営改善支援先の取組結果については、ディスクロージャー誌にて公表致しました。 ・新分野進出、事業再生等における取り組みとして、商工組合中央金庫との包括連携協定を締結致しました。 ・経営者保証に関するガイドラインに基づく活用状況 新規に無保証で融資した件数・・・14件 保証契約を解除した件数・・・2件 今後とも経営者保証に関するガイドラインの趣旨を踏まえ適切な対応を行ってまいります。

【地域密着型金融の具体的な取組み状況】（平成28年度）

項 目	取組方針	具体的取組策	取組状況
③金融円滑化の取組み	金融円滑化に関する恒久的措置への対応から新規融資や貸付条件変更等の申込みに対する適切な支援態勢の充実を図ります。	- 地域金融円滑化の基本方針に基づき、安定的に資金供給し、地域金融の円滑化に取組めます。 - 金融円滑化に関する研修を開催し、相談態勢の強化、関与する職員のレベルアップを図ります。 - 金融円滑化にかかる実績をホームページに公表します。	- 貸付条件の変更等を行った貸付債権・・・453件、4,582百万円（金融円滑化の基本方針に基づき、集計しております。） - 平成28年12月、金融円滑化研修会を実施し、説明態勢等の重要性を周知を行い職員のレベルアップを図りました。（参加人数14名） - 平成28年3月末時点における金融円滑化取組実績についてディスクロージャー誌にて公表致しました。半期毎の金融円滑化取組実績についても当金庫ホームページ上で公表致しました。 - 地域経済の発展に寄与するため「地域金融円滑化のための基本方針」を基に、引き続き安定した資金供給や貸付条件の変更等の申込みに対し適切な支援態勢を図って行く方針であります。
④事業性評価を重視した融資の取組み。	- 不動産担保・保証に必要以上に依存せず、取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価した金融支援を積極的にを行います。 - 目利き能力等の向上による人材育成を図ります。	- 日本政策金融公庫、北海道信用保証協会等との連携による金融支援を推進します。 - 外部機関との連携による専門家派遣事業の積極的な利用促進を図ります。 - 成長分野である医療・介護や新エネルギー等の事業者へ積極的な金融支援を推進します。 - 原則無担保扱いである事業性融資商品である「るしん商売繁盛ローン」を積極的に推進します。 - 本部研修や外部機関の研修制度等を活用し職員の「目利き能力」向上を図り取引先のニーズに対応できる人材育成への取り組みを実施しコンサルティング能力の向上を図ります。	㈱日本政策金融公庫との連携による協調融資・・・5先、329百万円 主に工場の建設、工場取得資金等 - 北海道信用保証協会との連携強化による金融支援・・・平成28年度に創設された「協調融資型保証制度（名称スクラム3000）」を利用した金融支援を実施 67先、1,023百万円 - 成長分野への金融支援・・・太陽光発電事業1先、290百万円、医療関係設備資金8先、225百万円、福祉関係設備資金3先、150百万円 「るしん商売繁盛ローン」の推進実績・・・2件、30百万円 - 事業性評価に基づく担保・保証に依存しない「地域活性化応援資金」を発売し、資金需要に対し積極的な金融支援に取り組みました。支援実績・・・48件、409百万円 - 今後も事業性評価による金融仲介機能の質の向上を図り地域経済の活性化、金融の円滑化に取り組んでまいります。 - 人材育成への取り組み状況・・・目利き力養成講座への派遣4名、事業承継セミナーへの派遣1名、(独)中小企業基盤整備機構の地域支援機関等サポート事業を活用し専門家講師による研修(14名)、事業性評価をテーマとした研修会を他金庫合同で実施(19名) 以外に継続的な内部研修や若手職員による自主勉強会を実施し人材育成の強化を図っております。
2. 地域の面的再生への積極的な参画			
①地域創生や地域経済活性化への取組み	- 産学官金とのネットワークを構築し地域の活性化に関する取組みへの参画や連携を図り一体となって推進します。 - 地域の将来を担う人材育成・企業経営力向上等の支援に取組みます。 - 地域貢献、社会貢献活動への積極的な取組みを行います。	- 留萌振興局との包括連携協定に基づく事業として、留萌管内の企業等が行う商品開発等の取組みに対し、事業費の一部を助成します。（るもい元気づくり助成金） - 留萌振興局との包括連携協定に基づき、(1)留萌元気づくりセミナーの開催(2)地域資源のPR資料を営業店に掲示し推進します。 - 留萌市経済活性化懇談会へコアメンバーとして参加します。 「地方創生プロジェクトチーム」の活動として留萌振興局、商工会議所、商工会等との連携を強化し情報提供、分析、提案等に積極的に参画します。 - 地域を担う次世代経営者(若手経営者・後継経営者・経営幹部等)を対象とした経営塾を開催し、地域貢献に資する人材育成を支援します。 - 札幌医科大学との包括連携協定による事業としてセミナー開催等を行います。 - 留萌商工会議所青年部及び留萌青年会議所との包括連携協定に基づき、地域の経済・文化などの活性化に向けて相互に連携して取組みます。 - 地域貢献・社会貢献活動として、地域活性化行事等へ積極的に参加します。	- 平成28年度のるもい元気づくり助成金の申込実績・・・3先、26万円 ①天売島への観光客誘致事業支援②地元特産品を使用した商品開発支援③公園の案内板整備事業支援 - 留萌振興局との包括連携協定事業として、セミナーを1回開催致しました。平成28年9月20日「第12回留萌・元気づくりセミナー」参加人数100人 - 留萌市経済活性化懇談会に定期的に参加し、地域経済の活性化に向けた意見交換会、情報提供等を通じて積極的に関与致しました。 - 地方創生プロジェクトチーム会議を3回開催し各町村における総合戦略の推進状況を共有するとともに、情報提供や提案等に積極的に参画致しました。 - 次代を担う経営者を対象とした「るしん未来塾」を第5期目として開塾し研修会を5回実施致しました。（塾生29名） - 札幌医科大学との包括連携協定事業としてセミナーを1回開催致しました。平成28年8月18日 第4回メディカル・カフェ@留萌 参加人数32名 - 留萌青年会議所および留萌商工会議所青年部との包括連携協定に基づき、相互に連携・協力して留萌地域の活性化に取り組んでまいります。 - 留萌管内の特産品である「数の子」をイメージした日本酒のラベルを企画し、商品化によりお土産の一つとして地域と数の子を積極的にPRし地域活性化事業に協力致しました。（ラベル名～「るもい数子のふるさと」） - 各営業地域において清掃活動等の社会貢献活動を実施しております。今後とも地域貢献等へ積極的に参加する方針であります。
3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信			
①当金庫の経営内容・取組み等に関する情報発信	- 地域密着型金融への取組みにおける推進項目や取組結果を地域や取引先に対し積極的に情報発信することで、当金庫の取組みを周知し、地域の活性化と経営の健全性向上に取組みます。 - 地域活性化につながる多様なサービスの一環として、留萌地区中小企業景況レポートによる経営情報の提供を行います。	- 経営内容、地域密着型金融推進計画の推進項目や取組結果等をディスクロージャー誌及びホームページに掲載し公表します。 - 当金庫が作成する「るもいしんきん景況レポート」を調査対象先等へ四半期毎に配布します。 - ホームページにて商品情報など様々な情報をわかりやすく情報発信を行います。	- 当金庫の経営状況、地域密着型金融推進計画の推進項目や取組結果をホームページ及びディスクロージャー誌に掲載し経営の透明性向上を図っております。 - 四半期毎(年4回)に「るもいしんきん景況レポート」を市町村、調査対象先等へ配布公表し、取引先企業等に有用な情報提供が出来たと評価しております。 - 今後も情報内容等の充実に努め地域活性化に寄与する活動を行ってまいります。